

第3回 行財政改革官民協働委員会議事概要

日 時	平成25年8月6日（火） 9：30～11：00
会 場	中央図書館 講座室
出席者	佐藤委員（委員長）、萩野委員、山本（寛）委員、山本（守）委員、伊藤委員、磯部委員、河原委員、市橋委員、清水委員、金子委員、尾瀨委員 欠席：田村委員（アドバイザー）、小田委員（副委員長）、後藤委員 説明者：渡辺中央図書館長
議 題	①集中改革プランの平成24年度実績について ②アウトソーシング推進計画変更（案）について ③その他
議事概要	<p>①集中改革プランの平成24年度実績について （資料No.1-1、No.1-2）を事務局より資料に基づき説明。</p> <p>○ 当初の数値設定が担当課によって明らかに高すぎる計画もある。将来ビジョン、財政計画の見直しに伴い、行政改革大綱実施計画も変更することとなるが、今回の形式でいくと各課全項目となってしまう、範囲が広すぎてしまう。今後、項目を絞った計画にするのか、今後の進捗管理をどうしていくかなども、今後、お知恵を拝借したい。</p> <p>《委員からの意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Cとなっている項目に問題があるのではないか。どのように達成していくかが問題となる。 ・ CからBになったという項目もあるのかどうか。 →（事務局）昨年度はDの項目もあったが、今年はD評価の項目は無くなった。Cだからといって問題であるとは言い切れず、目標値そのものが当初から高いというものもある。 <p>②アウトソーシング推進計画変更（案）について （資料No.2）を事務局より資料に基づき説明。</p> <p>○ 主な変更としては、トキ交流会館管理事業（貸館業務）と体育施設管理運営業務の新規追加と図書館業務の計画の取り下げの要望。</p> <p>○ 社会教育課としては図書館業務については、アウトソーシングに出しても、メリットが少なくデメリットが多いため、アウトソーシングではなく直営として行っていきたいため、計画からはずしたい。また、市民から直営にしてもらいたいとの声も多い。（地区別の説明会の際の市民の声）</p> <p>《委員からの意見等》</p> <p>【図書館業務の削除について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明会に集まったメンバーはどのようなメンバーなのか。一部の

意見なのかどうかの見極めを行うべきではないか。

→ (図書館長) 説明会のメンバーとしては、子育て中のお母さんから、年配の方、小学生まで幅広い。

- 他自治体の先進事例を調べたか。

→ (図書館長) 調べた結果、県内の3自治体は指定管理に出す可能性があるところがあった。(受けるという団体がいたケースも含める)

現在は専任職員が対応している資料の提供等の内容もわからない状態になるため、市民にとっては不便ということがある。民間に出し、利益追求となってしまうと運営は厳しいのではないか。

- 業務のコスト計算は行ったか。

→ (図書館長) 約4千万位。そのほとんどが人件費であり、図書費は710万となっている。現在正規職員は2名、臨時職員が15名。

- 計画に載っていることによるデメリットは何か。

→ (図書館長) 市民からの問合せも多くあり、市民もサービスが悪くなるのではないかと恐れている状況。市としては直営でやっていくということをはっきり示したいという意図がある。

- 図書館の箇所数も非常に多く(10の図書館)、残していくとしても、これからもずっとその形にしていくのは、人数が減っていくという中で厳しいのではないか。

→ (図書館長) 繁忙時間のみ、臨時職員を雇うようにしたり、中央から職員を派遣したりする方法を検討している。

- 図書館を残せばよいということではないのではないか。新刊が入っていない図書館(室)もあり、その図書館には行かないのではないか。

- 学校関係との図書の連携状況はどうか。

→ (図書館長) 朝読書会で本の読み聞かせを行っている。また、読書ボランティア団体は島内に20団体程ある。全地区というわけではないが、小学校の図書室や幼稚園と連携を取り、貸し出しも行っている。(100冊程度)

- 国仲地区の利用が少ないため、中央図書館に集約するというようなことは出来ないものか。中央図書館の利用率は一番多いため、その充実を図っていくように言えないか。

→ (図書館長) 独立として、真野図書館があるため、厳しいが、その他の国仲の図書館は、職員は現在、中央図書館から職員が行っているという形となっている。

- 地域での連携をするなど工夫をすることで、アウトソーシングすることも可能ではないか。まだまだアウトソーシング可能なもの

	<p>があると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今この場で話しをただけでも、いろいろなやり方（工夫の仕方）がある。アウトソーシングに出すことで便利が悪いということだけであれば、学校等の統廃合も同じことである。 ・ 委員の意見の多数決をとった結果、「アウトソーシング推進計画には残しておいたほうがよい」という意見が多数であったため、最終決定を行う庁議（課長級職員の会議）において、本官民協働委員会の意見を伝えさせていただく。 <p>③その他 特になし</p>
<p>次回検討 事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は8月26日（月）午前の予定とする。 ・ 将来ビジョン、財政計画、定員適正化計画見直しの概要の説明他